



Italian Living Innovation

デロンギ

コーン式コーヒーグラインダー

型番 **KG364J**

家庭用

取扱説明書

MADE IN CHINA

特長

■香りを保つ低速グラインディング

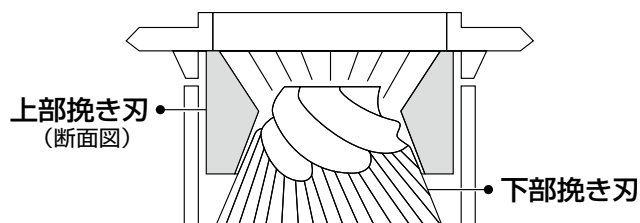
コーン式挽き刃と高性能リダクション（低速回転）モーターの採用により、豆を挽く時の摩擦熱を最小限に抑えられるので、コーヒー本来の香りや風味を保つことができます。

■14段階の粒度設定

中挽き、中細挽き、細挽き、極細挽きと4つのステージで14段階の粒度設定が可能です。エスプレッソ、ドリップ用など、好みの挽き具合を選択できます。

■コーン式挽き刃が、「挽きムラ」を抑えます

コーン式挽き刃（2枚構成）により、豆を均一に挽くことができます。



■安全ロック機能

ホッパーが所定の位置にきちんと装着されていないと作動しない安全ロック機能付きです。

■お手入れが簡単

上部挽き刃は取り外しができるので、付属のブラシで簡単にお手入れができます。



このたびは、デロンギ コーン式コーヒーグラインダー KG364Jをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

| | |
|--------------------|-------|
| 安全上のご注意..... | 1~4 |
| 各部の名称とはたらき | 5~6 |
| ご使用になる前に..... | 7~8 |
| 使用手順 | 9~10 |
| お手入れのしかた..... | 11~12 |
| 保管について | 13 |
| 仕様..... | 13 |
| アフターサービスについて | 14 |

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



：禁止



：接触禁止



：水ぬれ禁止

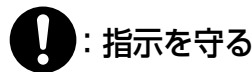


：分解禁止



：ぬれ手禁止

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



：指示を守る



：電源プラグを抜く

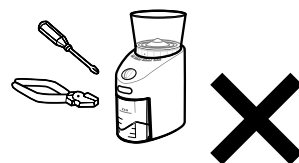


危険



・自分で絶対に分解・修理・改造は行わない

感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。



警告

電源／コンセントについて



・電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む

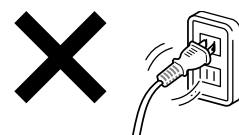
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

15A 125V



・取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない

取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差し込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。





警告

電源プラグ／電源コードについて



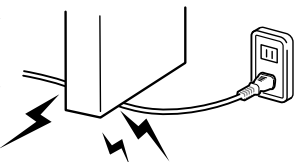
- ・電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに作動ツマミをOFFにして電源を切り、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。



- ・電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。



- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



- ・動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。



- ・電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。



- ・電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



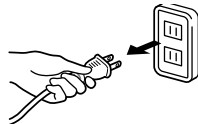
- ・変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）に、交換を依頼してください。

使用中／使用後について



- ・異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに作動ツマミをOFFにして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14 ページ参照）までご連絡ください。



- ・お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



- ・定格時間、定格容量を守って使用する
故障の原因になります。

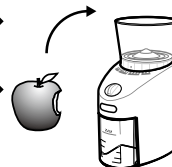


- ・挽き刃および周辺部分に、指や異物を入れない。特に子供のいたずらに注意する



- ・他の用途で使わない

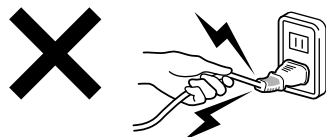
この製品は家庭用として設計されたコーヒーグラインダーです。コーヒー豆以外のものを入れたり、他の用途に使用しないでください。



⚠ 注意

電源プラグ／電源コードについて

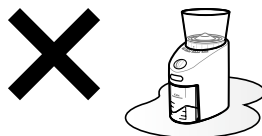
- ❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



- ⊘ 使用中は、電源コードを本体に触れさせない
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

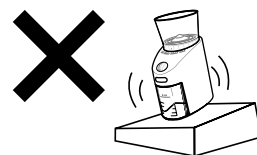
設置場所について

- ⊘ 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）で使わない
ショートや感電の恐れがあります。



- ⊘ 熱い表面や濡れた表面に本体を置かない
故障の原因になります。

- ❗ 平らで安定のよいテーブル等に置いて使用する
不安定な場所に置くと、本機が転倒し、ケガや故障の原因になります。



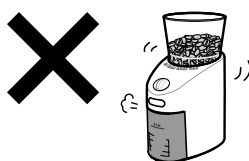
使用中／使用後について

- ❗ 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・火災の原因になります。

- ❗ 持ち運びの際は、必ず本体を持つ
ホッパー部分を持つと、本体が外れて落下する恐れがあります。

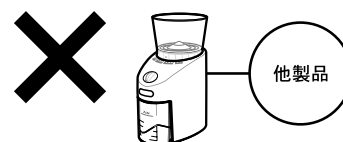


- ⊘ コンテナ（粉受け）を満杯にした状態で挽かない
粉が落下口に詰まり、モーター故障等の原因になります。



- ⊘ 本体に水やジュースをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（14ページ参照）までご連絡ください。

- ⊘ 他製品の部品や付属品を組み合わせる
故障、ケガ、火災の原因になります。



- ⊘ 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。



注意

お手入れについて



- ・お手入れの前に電源プラグを抜く
ケガをする恐れがあります。



- ・絶対に、水に浸したり、水洗いをしない
故障の原因になります。
表面の汚れは、硬く絞ったふきんなどで
拭き取ってください。
「お手入れのしかた」（11 ページ）を参照
してください。



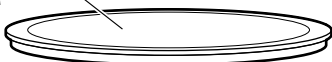
- ・ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない

本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂
部品の割れの原因になります。

各部の名称とはたらき

ホッパーふた

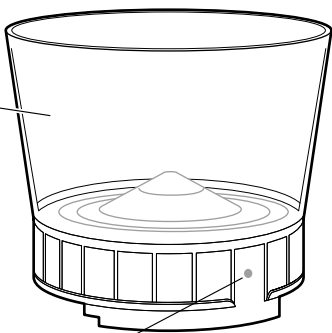
豆を挽く際は、必ずふたをしてください。



ホッパー(豆入れ)

ローストしたコーヒー豆を投入します。

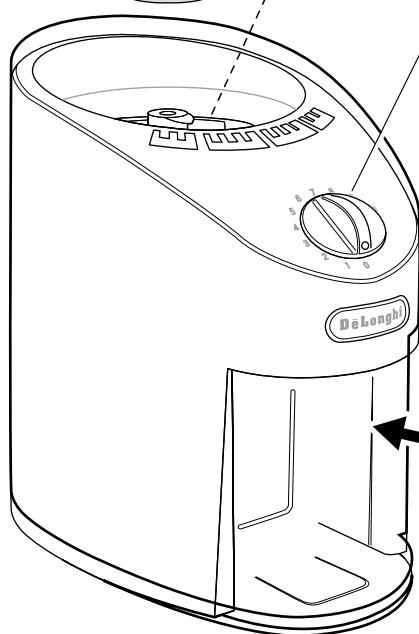
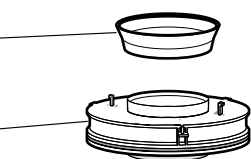
最大容量:250g



ガイド

ソフトカバー

上部挽き刃

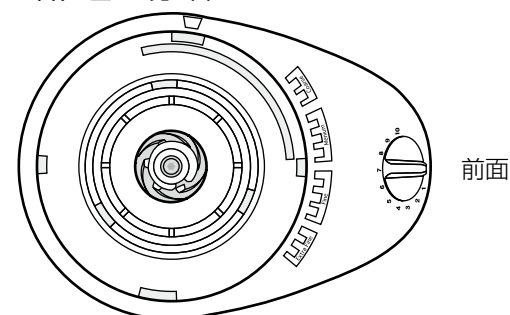


本体

下部挽き刃

お手入れの際は、ブラシなどをご利用ください。(11ページ参照)

<本体を上から見た図>



前面

作動ツマミ(タイマー)

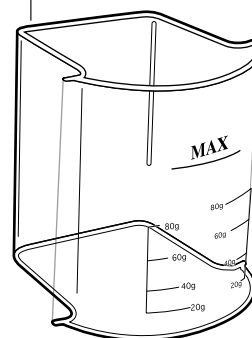
時計回りに回すと挽き刃が回転します。最長10の位置で、約60秒作動します。

※回転を途中で止める場合は、ツマミを0の位置(OFF)に戻します。

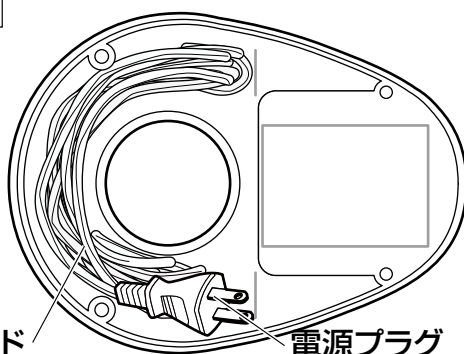
コンテナ(粉受け)

コーヒー粉が、最大110gまで入ります。

※予め、ホッパーに投入する豆の量を調節して、コンテナの「MAX」のラインを超えないようにしてください。



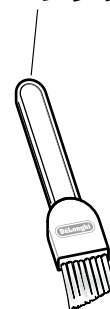
本体底面



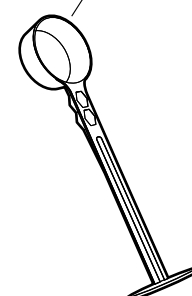
電源コード

電源プラグ

コーヒー機器用 クリーニングブラシ



計量スプーン



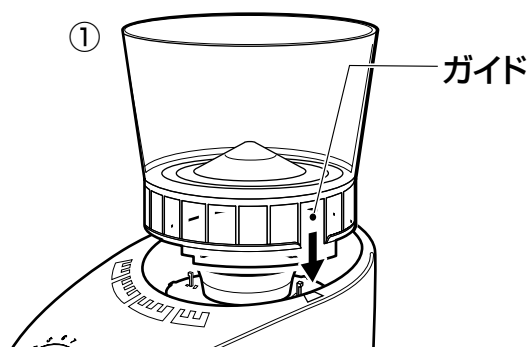
⚠️ ご注意

本体使用時は必ずすべての電源コードを取り出してください。電源コードを束ねたまま使用すると、熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。

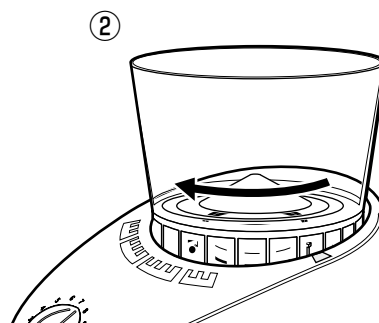
各部の名称とはたらき（続き）

ホッパーの取り付け／取り外し

ホッパーを取り付けるときは、ホッパーのガイドと本体のマークの位置を合わせて (①) ホッパーを挿入し、時計回りに回します (②)。

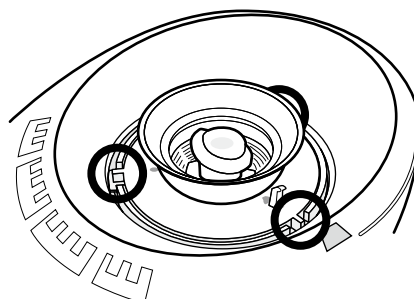
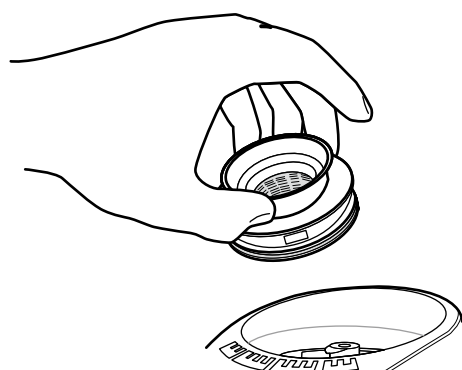


ホッパーを取り外すときは、ホッパーを反時計回りに回して取り付けと逆の手順で操作します。



上部挽き刃の取り付け／取り外し

上部挽き刃を取り付けるときは、上部挽き刃の3箇所の凸部を本体のへこみに合わせて乗せるようにはめ込みます。

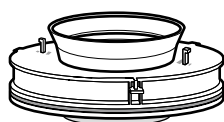


⚠ ご注意

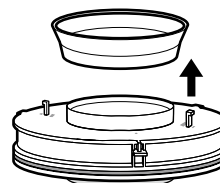
ソフトカバーを上部挽き刃に取り付けてから本体に取り付けてください。ソフトカバーが付いていない状態で本体に装着すると、上下逆にはめ込んでしまう危険があります。上部挽き刃を上下逆に取り付けてしまうと、取り外しができなくなることがあります。

ソフトカバーの取り付け／取り外し

ソフトカバーは、上部挽き刃の上部にかぶせるように取り付けます。



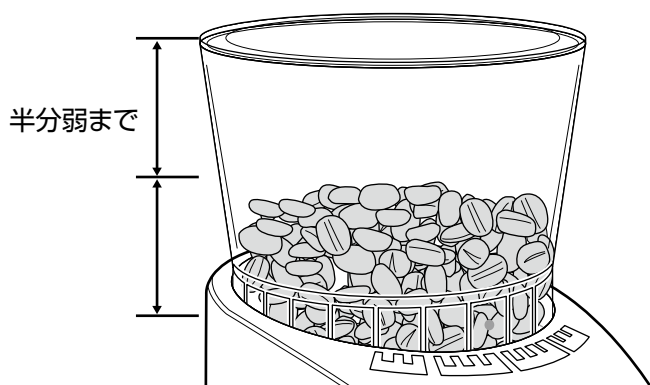
ソフトカバーを取り外すときは、上部挽き刃からゆっくりと引っ張って外します。



ご使用になる前に

本製品の実機能を保証するために、工場出荷時に1台1台コーヒー豆を使って試験しています。そのため、試験で使用したコーヒー粉が一部マシンの本体内部や挽き刃に付着したり、コーヒー臭が残っている場合もございますが、ご了承ください。

一回に挽くコーヒー豆の最大投入量は…



ホッパーには最大で250gのコーヒー豆を入れることができますが、コンテナの最大容量が110g (★) なので、1回に挽くコーヒー豆の最大投入量は、ホッパーの半分弱までを目安にしてください。

★この量は、目安としてコーヒーが約11～13杯分とれる量です。

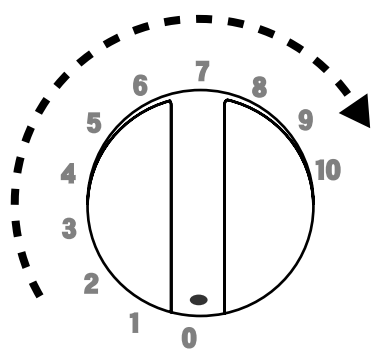
※コーヒー 1杯分の粉の量は、お好みで調整してください。

グラインド目盛について

コーヒー豆を挽く際の粗さ（粒度）調節は、ホッパーを回してガイドを希望のグラインド目盛に合わせることで行います。左端の「Extra Fine」に合わせると、一番細かい粉になり、右に行くほど粗くなります。右端の「Coarse」に合わせると、最も粗い粉となります。エスプレッソ、モカ、ドリップ用など、コーヒーの入れ方／お好みにより挽き具合を選択できます。

| Extra Fine | Fine | Medium | Coarse |
|----------------|---|---|------------------------|
| 極細挽き エスプレッソ | 細挽き モカマシーン(モカ用) ドリップコーヒー (ペーパードリップまたは コーヒーメーカー) | 中細挽き ドリップコーヒー (ペーパードリップまたは コーヒーメーカー) | 中挽き ネルドリップ サイフォン |

作動ツマミ（タイマー）について



- ・つまみ周囲の数字は、コーヒー豆を「中細挽き～中挽き」で挽く場合の抽出杯数（1～10杯分）の目安として利用できます。
- ・10の位置まで回すと、約60秒（定格時間）作動します。
- ※「極細挽き」および「細挽き」の場合は、挽く杯数分よりも大きい数字に合わせてください。
- ・0の位置にすると電源が切れます。
- ・ホッパーが正しく取り付け／固定されていない場合、またはガイドがグラインド目盛の範囲外にある場合は、作動ツマミを回しても挽き刃は回転しません。
- ・タイマーの目盛と必要なコーヒーの粉量については、8ページをご参照ください。

ご使用になる前に（続き）

グランド目盛とタイマーの目安

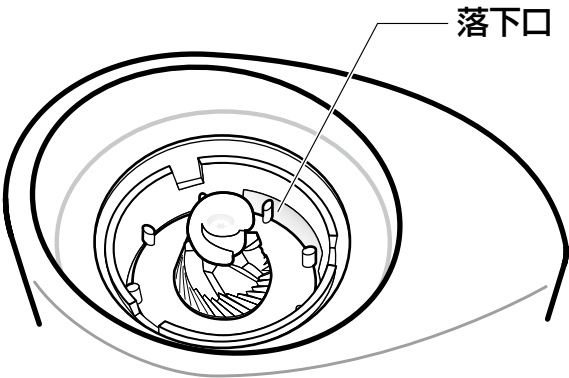
ご利用になる抽出器具と抽出杯数に応じて、下記の表を参考に作動ツマミを設定してください。

| 粒度設定 | | Extra fine | Fine | Medium | Coarse |
|------|----|------------|-------------------|--------|-----------------|
| | | 極細挽き | 細挽き | 中細挽き | 中挽き |
| 抽出方式 | | エスプレッソ | ペーパードリップ／コーヒーマーカー | | ネルドリップ サイフォン |
| | | | モカマシーン | | |
| 目盛 | 1 | 3～8g | 5～11g | 7～17g | 9～19g |
| | 2 | | | | |
| | 3 | 10～18g | 15～22g | 17～25g | 22～28g |
| | 4 | 20～35g | 28～40g | 32～45g | 36～47g |
| | 5 | | | | |
| | 6 | 30～47g | 42～55g | 48～60g | 52～65g |
| | 7 | | | | |
| | 8 | 43～60g | 55～70g | 62～74g | 69～78g |
| | 9 | | | | |
| | 10 | 50～66g | 68～76g | 77～82g | 84～87g |

← 粒度 細かい → 粗い

- ※必要な分量のコーヒー粉を挽く時間は、豆の粒度が細かいほど時間がかかり、粗いほど早くなります。
- ※作動ツマミを回す度合いによって、挽くことができるコーヒー粉の量は異なりますので、上記はあくまでも目安となります。

お使いになる前に



- ・ご使用になるときは、ホッパーふた、ホッパー、コンテナを乾いた清潔な布で拭いてください。
- ・上部挽き刃を持ち上げて取り外し、挽き刃の間やコーヒー粉の落下口に異物がないかを確認してください。

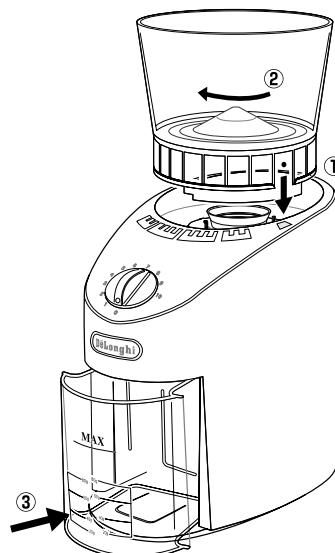
使用手順

1 ホッパーとコンテナを取り付ける

ホッパーのガイドと本体のマークの位置を合わせて、ホッパーを挿入し (①)、時計回りに回します (②)。次に、コンテナを本体に装着します (③)。

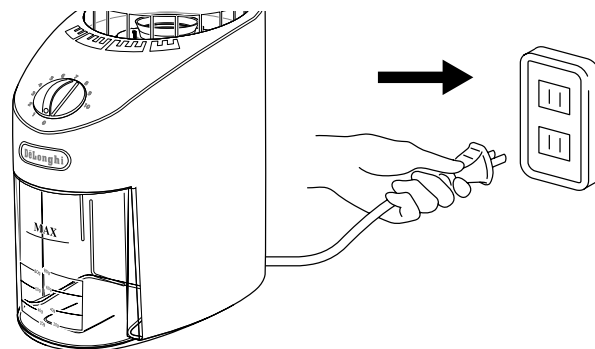
⚠️ ご注意

ホッパーが本体にしっかりと装着されていないと、グラインダーは作動しません。



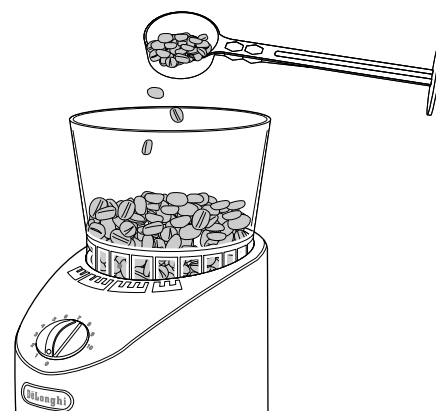
2 コンセントにプラグを差し込む

本体裏に収納されている電源コードをすべて取り出し、コンセントにプラグを差し込みます。



3 豆を入れる

ホッパーのふたを取り外し、コーヒー豆をお好みの量だけ入れます。コーヒー豆を入れた後、ホッパーのふたをしっかりと装着します。

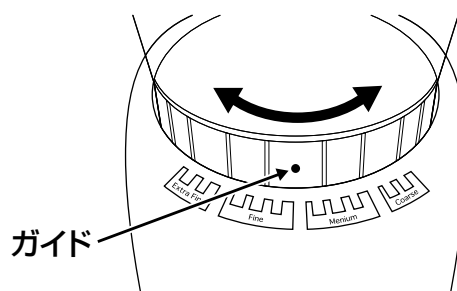


⚠️ ご注意

一回に挽くコーヒー豆の最大投入量は、ホッパーの約半分弱を目安にしてください。
☞ 「ご使用になる前に」 (7ページ)。

4 粗さを調節する

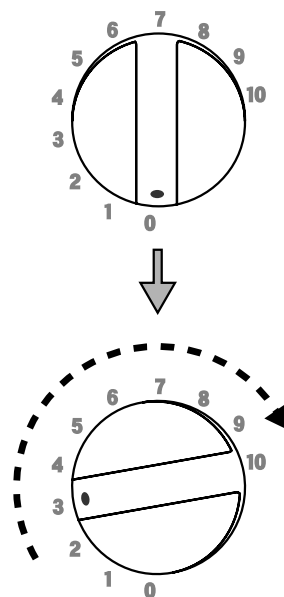
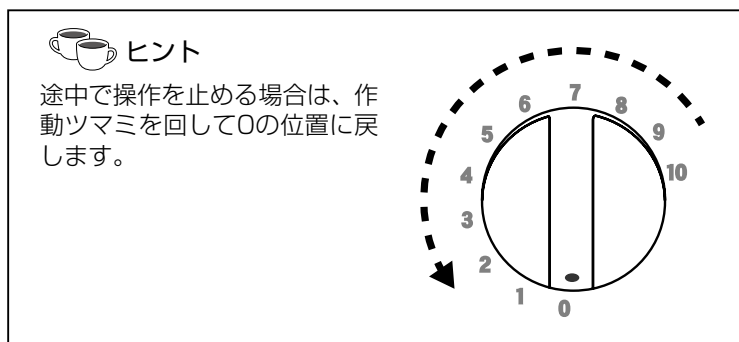
ホッパーを回して、ガイド (ホッパーの●マーク) をお好みの粒度の位置にセットします。1段階調節するごとにカチッという音がします。極細挽きから中挽きまで14段階調節できます。



使用手順（続き）

5 作動ツマミをセットして豆を挽く

作動ツマミを右（時計回り）に回して電源を入れます。これで豆挽きが始まります。この段階でコーヒー粉がコンテナに落ちていない場合は、本体を軽くゆすってください（豆が油っぽい、または湿っているとこのような状態になることがあります）。



⚠️ ご注意

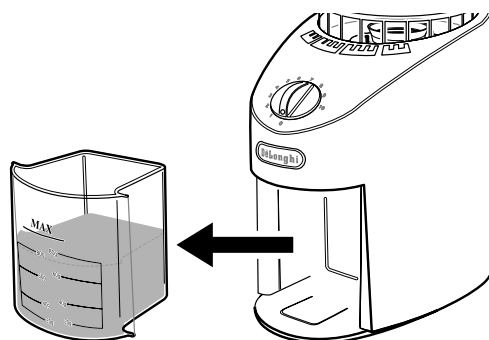
- 60秒（定格時間）以上連続して使用しないでください。連続使用すると機器内部の温度が上昇し、自動的に過熱防止装置が働き、豆挽きが止まります。その際は、3分程間隔を置いて、機器内部の温度が下がってから使用してください。
- 豆を挽く前に、コンテナが所定の位置に装着されているかを確認してください。
- 挽いている間、ホッパーのふたは閉めておいてください。

6 コンテナから粉をあける

本体の側面を3～4回軽く手のひらでたたき、落下口周辺とコンテナ側面についている粉をコンテナ内に落とします。次に、コンテナを本体から取り出して粉をあけます。

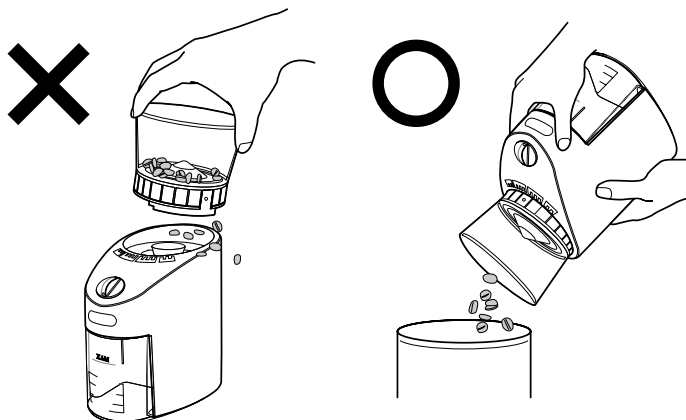
⚠️ ご注意

粒度を変更して続けてコーヒー豆を挽く場合は、一度、挽き刃を付属のブラシで掃除することをお勧めします。



ホッパーに残ったコーヒー豆を取り出すには

ホッパーに残った豆を取り出すには、ホッパーを着けたまま本体を傾けふたを開け（右図参照）、容器等に戻してください。ホッパーは底がないので、豆を入れた状態で外すと、豆がこぼれ落ちます。



お手入れのしかた

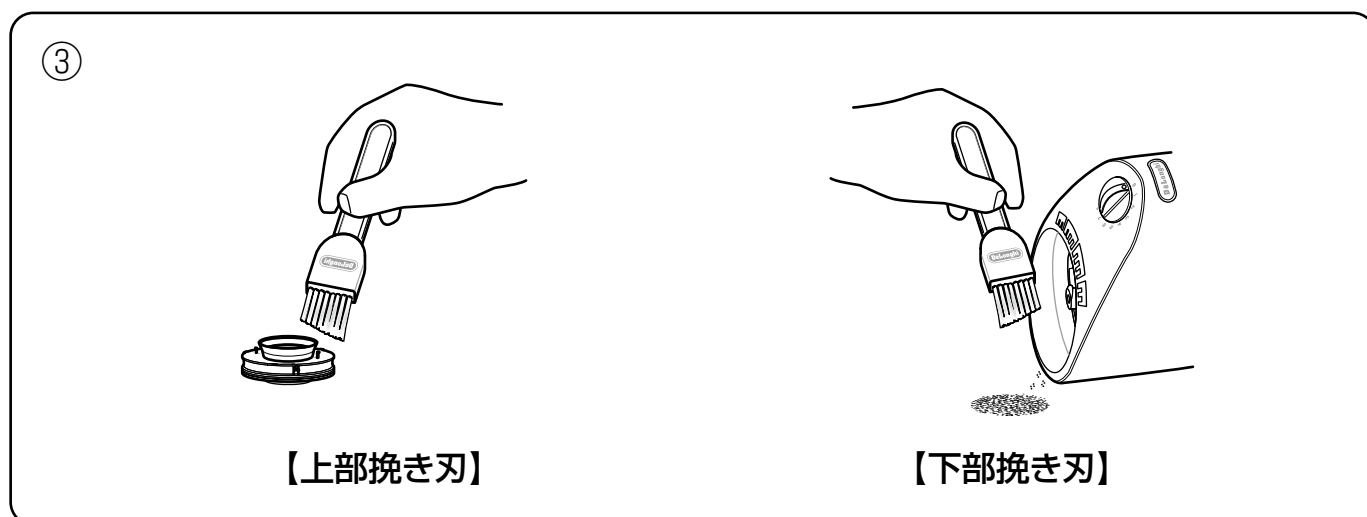
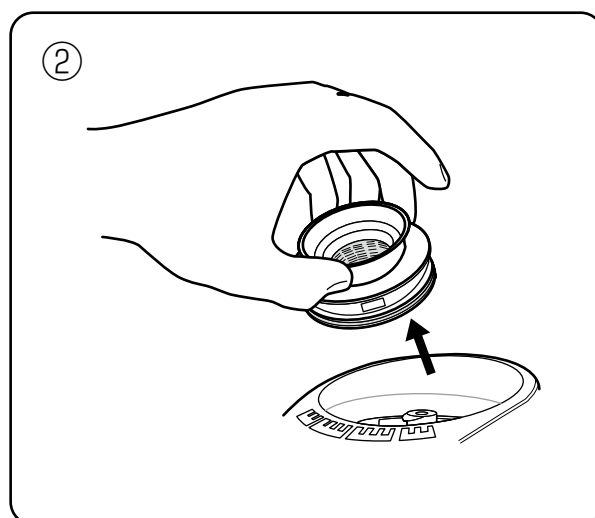
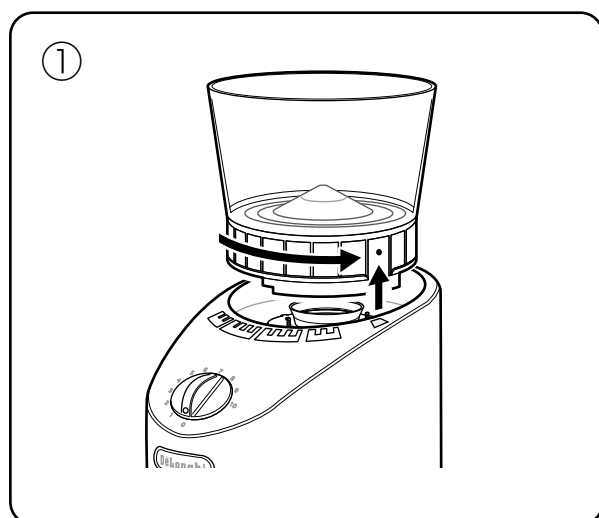
⚠️ ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 食器洗い機や食器乾燥機などは使用しないでください。

水洗いできません・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■上部挽き刃、下部挽き刃

- ①ホッパーを矢印の方向に回して取り外します。
- ②上部挽き刃を取り外します。
- ③付属のクリーニングブラシを使って上部挽き刃及び本体側の下部挽き刃を掃除してください



⚠️ ご注意

挽き刃のお手入れは、まめに行ってください。挽き刃に付着したコーヒー粉をそのままにしておくと酸化し、新しいコーヒー粉の香りや風味を損ねます。また、コーヒー粉が堆積すると落下口が詰まる原因になります。

お手入れのしかた（続き）

■本体

固く絞った濡れ布巾で拭きます。

ひどい汚れは、少量の台所食器用洗剤をつけた布で拭き、その後、固く絞った濡れ布巾で洗剤をよく拭き取ってください。

また、本体のコーヒー粉の落下口およびコンテナの挿入部は、粉がたまりやすくなっています。使用後は毎回ブラシ等でコーヒー粉を払い落としてください。

⚠ ご注意

本体や電源コード、プラグは、水に浸けたり水洗いをしないでください。

挽き刃について

挽き刃の素材は炭素鋼ですので、絶対に水洗いしないでください。刃がサビる原因になります。ご使用後は必ず付属のクリーニングブラシを使って挽き刃を掃除し、湿度の低い場所で保管してください。



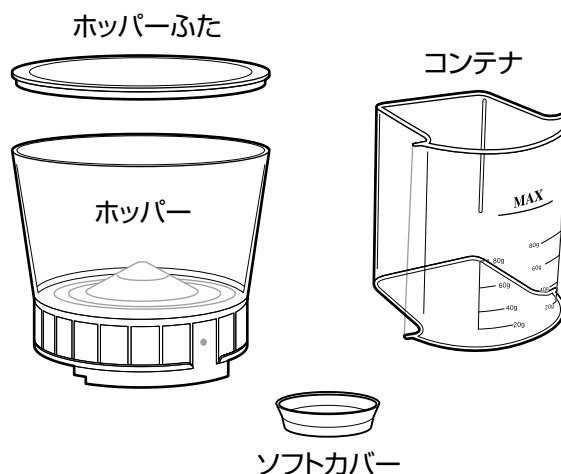
水洗いできます.....

■ホッパーふた、ホッパー、コンテナ、ソフトカバー

・台所食器用洗剤と柔らかいスポンジで水洗いします。本体には、よく乾かしてから取り付けてください。

⚠ ご注意

クレンザーや金たわし、ベンジンやシンナー等は、使用しないでください。

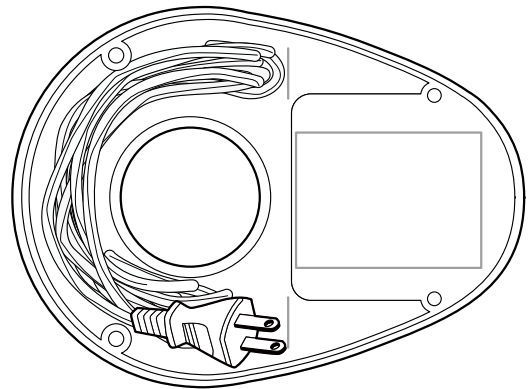


保管について

保管の際は、本体の底面にあるコード収納スペースに電源コードをまとめて収納することができます。

お手入れ後、製品の入っていた元の箱などに戻す場合は、各部が完全に乾いてから収納してください。

保管をする際は、なるべく乾燥した場所に置いてください。



仕様

| | | |
|-----------|--------|--|
| 製品名称／型式番号 | | デロンギ コーン式コーヒーグラインダー／KG364J |
| 定格 | 電圧／周波数 | AC100V／50/60Hz |
| | 消費電力 | 130W |
| | 時間 | 1分(連続使用時間) |
| 外形寸法 | | 幅135×奥行195×高さ275mm |
| ホッパー容量 | | 最大約250g |
| コンテナ容量 | | 最大約110g |
| 部品名および材質 | | 本体：ABS樹脂 ホッパー, コンテナ：アクリル樹脂 挽き刃：複合快削鋼材(炭素鋼) 挽き刃外枠：ナイロン 落下口：ABS樹脂 ソフトカバー：シリコン |
| 電源コードの長さ | | 1.8m |
| 質量 | | 1.5kg(本体のみ) |
| 付属品 | | コーヒーマシン用クリーニングブラシ,計量スプーン |

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

1)使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

〈以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

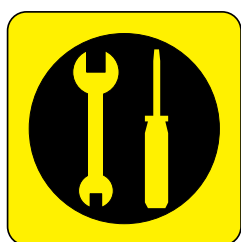
- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体の機器内部に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、**必ず故障の状況を記したメモ**を商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日:

年

月

日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280

Tel. 0120-692-885

お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300

Tel. 0120-692-880

／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ (URL) **<http://www.delonghi.co.jp>**



Italian Living Innovation

 **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321 (代)

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載！デロンギフォーラム無料会員募集中！

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>



再生紙を使用しています。